令和４年度　事業報告

社会福祉法人　中山梅寿会

【 施 設 部 門 】

・指定介護老人福祉施設　なかやま幸梅園
・指定短期入所生活介護・介護予防事業所　なかやま幸梅園
・短期入所生活介護・介護予防事業所　野中

【デイサービス部門】

・指定通所介護・介護予防事業所　なかやま幸梅園
・指定通所介護・介護予防事業所　佐礼谷
・指定通所介護・介護予防事業所　野中

【 在 宅 部 門 】

・指定居宅介護支援事業所　なかやま幸梅園
・在宅介護支援センター　なかやま幸梅園

【ケアハウス部門】

・ケアハウス　なかやま幸梅園

【 障 が い 部 門 】

・地域活動支援センター　くりのみ
・指定相談支援事業所　　くりのみ

【 調 理 部 門 】

・なかやま幸梅園　厨房

【 看 護 部 門 】

【訪問介護部門】

・指定訪問介護事業所　なかやま幸梅園

【基本理念】

日本一あったかいホームを目指します

【基本方針】

１　個人の尊厳

一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊重しかけがえのない存在として大切にします

２　信頼性、安全性、安心感の確保

職員自らの専門的役割を自覚し、資質の向上を図ることによりサービスを充実し、信頼性を高めるとともに利用者の安全を守り安心して暮らすことができる環境の確保に努めます

３　地域との連携

地域との交流、連携を通じ、地域福祉の拠点として共に支えあう社会の構築を目指します

【心構え】

・あいさつをしよう
・思いやりの気持ちをしっかり持とう
・入居者、利用者への言葉遣いに気をつけよう
・自分の価値観を押し付けないようにしよう
・中山梅寿会職員として責任ある行動をとろう

【運営方針】

１　個別援助

①　基本的な生活にかかせない３大介護「食事」・「排泄」・「入浴」において、個別ケアに取り組み、当たり前の生活と一人ひとりの生活習慣を大切にした支援を行う。

②　利用者の心身状況及び生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び家族の希望に沿った安心できるサービスを提供する。

２　機能訓練

①　利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

②　利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

３　健康管理

①　利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

②　感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

４　医療的サポート

①　利用者の健康に対する不安を取り除き、安心して過ごせるよう、看護・介護が一体となって、本人及び家族、医療機関等と連携を図り、健康管理を行う。

５　環境整備

①　生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

６　リスク管理

①　利用者が安全に過ごせるよう事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

７　防災対策

①　火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

８　職員教育と連携

①　質の高いサービスを提供するために、自己のスキルアップに努め、資質の向上を図る。

②　医療と介護の継ぎ目のないサービスを効果的に利用できるようにする観点から、入院時や退院・退所時に病院等と連絡を取り合い、利用者に関する情報共有を行う。また、障がい福祉サービスの利用者が、介護保険に移行する時やその後も家族を含めた適切なケアプランが作成できるように、障がい福祉制度の相談支援専門員との連携に努める。

９　地域交流

①　地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

１０　地域貢献

①　関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

②　地域の一員である自覚を持ち、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域福祉（障害）の拠点として開かれた施設を目指す。

③　日頃から地域との関係作りに努め、民生委員、高齢者見守り委員、地域住民との交流を持ち、各事業所が協力しながら地域貢献を行う。

【法人目標】

1. コンプライアンスの徹底を図り、健全な社会福祉法人を継続する。
2. 利用者に対し人権尊重を基本に、サービスの質の向上を図る。
3. 身体拘束ゼロ運動の促進、リスクマネジメント等に積極的に取り組み、利用者また家族との信頼関係の強化を図り、処遇の向上に努める。
4. 各事業所のサービス利用者の満足度を高める取り組みを継続し、利用者増加に繋げ、経営の安定を図る。
5. 地域から「なにを必要」とされているのか情報収集し、行政と連携を図り地域福祉の推進及び公益的な取り組みを行う。
6. 将来的な経営資源(ヒト・モノ・カネ)を把握して収支の良化を図る。
7. 業務のIT化と介護・福祉用具、ロボット機器等の導入を推進し、若い世代からシニア世代まで、介護現場で輝ける環境を整え、業務の負担を軽減する。また人材の確保に向け、各種情報サービスを見極めて利用する。
8. 新型コロナウイルスとうまく共存しながら、新たなサービスを提案・提供する。
9. BCP計画の再検討において、地域各種組織との連携強化を図り、各事業所の災害・防犯対策を強化する。
10. 新規事業の検討を積極的に進め実現化する

【法人目標に対する評価】

★令和４年度は新型コロナウイルス感染症が法人内各事業所で発症確認された。まず７月末より８月中旬にかけ入居事業所（特養・ケアハウス）を除くほとんどの事業所にて発症を確認。12月後半から１月後半にかけては、入居施設でも発症確認となり、本年度内では職員 27 名・利用者 19 名、合計 46 名（うち家族内感染 10 名）の感染発症者が確認された。通所等関係事業所においては、延べ 31 日の事業停止により 612 名の利用者に影響が出た。また収支面でも大きなダメージとなった。一方、入居施設特養では７名、ケアハウスでは６名の入居者に発症が確認され、クラスター対応施設となったが、保健所指示指導の下、職員全員で感染拡大防止対策、対応を行った結果どちらも重篤な入居者も出さず、また職員への２次感染も無く対応することができ懸念されていた長期間対応には至らなかった。今後も職員一人ひとりが感染対策の徹底に努め、加えて職員の家族、利用者とその家族、更には地域や多くの関係者の理解と信頼関係を継続し、引き続き気を緩めることなく感染防止の徹底を図っていかなければならない。

- 本年度も「法令遵守」だけでなく職業倫理や社会的な規範に従い、公正・公平に業務を継続することができた。
- 教育や研修(Zoom 含む)等を通じ利用者本位、自立支援に向けたサービスの質の向上を実現することができた。
- 苦情については事例なし。
- 各事業所における利用者の全体実績としては、新型コロナウイルス感染症による事業停止も含め前年対比 3,032 名の減となった。利用者の動向としては、施設指向への変化が進み大幅な収入減の要因となった。支出面でも新型コロナウイルス感染症の防止及び発症対応経費は大きく影響した。
- 業務の IT 化については、更に効率化アップを職員の世代に関係なく実施できた。人材も職員の協力にて確保することができた。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症が法人内各事業所で発症確認されたが、状況に応じた対応をしたため、今後に対しての環境整備と共にレクリエーション活動においてもリスク管理を強化することが可能となった。
- 令和６年度に向け各事業所での災害・防災・感染症対策も新たな BCP 計画を検討した。
- 新規事業の検討には至らなかった。

1. 各委員会活動

委員会名	主な活動内容	年回数
【運営会議】 ・防災・安全衛生・メンタル対策 ・身体拘束適正化検討 ・業務継続計画策定 ・働き方改革	■施設運営に関する問題解決の取り組み ■防災対策等に関わる内容 ■安全衛生に関わる内容 ■心の健康に関わる内容 ■身体拘束適正化・廃止に関する取り組み ■業務継続計画に関わる内容 ■働き方改革に関わる内容	24
【相談員会】 ・相談員・車両 【事故防止委員会】 【安全対策委員会】	■行事計画・リスク管理・各事業所との連携 ■車両の安全運行及び車両管理 ■事故の予防と発生時の対応に関する取り組み ■危険箇所の確認、環境整備等	12
【ナース会】 ・感染症対策・医療安全管理	■感染症の予防と発生時の対応に関する取り組み ■医療事故の予防・再発防止および発生時の適切な対応等	12
【生活支援委員会】 ・身体拘束適正化検討 ・ターミナル・事故防止	■特養入居者の身体拘束適正化・廃止に関する取り組み ■特養入居者の看取りに関する取り組み等 ■特養入居者の事故予防と発生時の対応に関する取り組み	12
【食事委員会】	■入居・利用者の食事形態の見直し及び環境整備	4
【排泄委員会】 【褥瘡委員会】	■入居者・利用者の排泄の見直し・排泄用品の見直し ■褥瘡の予防と発生時の対応に関する取り組み	2
【リハビリ委員会】 【腰痛対策委員会】	■生活援助に向けた環境整備とリハビリ ■職場における腰痛予防対策	2
【接遇委員会】 【環境整備委員会】	■職員の質の向上に向けた取り組み ■清潔な施設環境の整備等	4
【研修委員会】	■施設内外の研修の立案・実施	2
【広報委員会】	■年4回の広報誌の作成運営	4

【職員会】	法人・施設方針の確認、研修や各委員会報告等	9
【特養会】	特養における諸問題の解決に向けた取り組み	12
【パート会】	職員間の連携と調整	1
【厨房部会】	調理における諸問題の改善に向けた取り組み	2

2. ボランティア状況（定期）

コロナ禍により不定期もしくは中止

	クラブ等名	ボランティア	
月/1回	フラワーアレンジメント	中塚道子	9回
月/3回	音楽クラブ	一色康子	24回
月/2回	書道クラブ	西山一幸	5回
月/3回	シーツ交換ボランティア	町内協力者 29名	0回

3. ボランティア状況（不定期）

コロナ禍により不定期もしくは中止

日	ボランティアグループ名	内容
10/11	中山地区老人クラブ会員	中山地区老人クラブ会員による物品等寄贈
12/20	中山地区民生児童委員	施設清掃ボランティア　屋外窓清掃　竹伐採作業等

4. 園内研修

月日	研 修 内 容	講師名
4/27	法令順守・プライバシー保護・身体拘束適正化に関する勉強会	権田施設長
6/24	感染症（食中毒予防他）勉強会	小川管理栄養士
7/27	事故防止勉強会	横山統括管理者
8月・9月	褥瘡勉強会（各事業所）	褥瘡対策委員会
9月・10月	感染症（インフルエンザ関係）勉強会（各事業所）	感染症対策委員会
コロナにより中止	救急救命講習会	
11/24	認知症勉強会	愛大精神科尾﨑智樹先生
12/21	事故防止勉強会	森田孝志相談員
1/24	身体拘束に関する勉強会	各事業所運営委員
2/1	褥瘡予防勉強会	褥瘡対策委員会

5. 園外研修　　別紙１

6. 施設見学

コロナ禍により中止

月日	団 体 名	
	なし	

7. 施設実習

月日	団 体 名	人数
8月	聖カタリナ大学人間健康福祉学部社会福祉学科介護福祉実習 （施設内コロナ感染状況により中断）	1名
10月	愛媛県立宇和特別支援学校高等部後期現場実習	1名
1月・2月	愛媛県社協　介護支援専門員見学実習	1名
3月	愛媛県立宇和特別支援学校高等部後期現場実習	1名

8. 行事

	行　　事
4月	花見
5月	母の日会・運動会（各事業所）
6月	父の日会・焼肉パーティ（幸梅園）・風水害避難訓練
7月	風船バレー大会（各事業所）・焼肉パーティ（佐礼谷・野中）
8月	夏祭り・慰霊祭・そうめん流し
9月	敬老会
10月	餅つき
11月	文化祭
12月	シェイクアウト（地震防災）訓練・忘年会・クリスマス会・しめ縄作り・餅つき
1月	歳旦祭・新年会
2月	節分「豆まき」
3月	風船バレー大会（各事業所）

9. その他

月日	主 な 内 容
4/4	害虫駆除
4/15	入所判定会
5/10	害虫駆除
5/22	カーペット清掃
6/2	監事監査
6/7	害虫駆除
6/8	第1回理事会
6/14	風水害防災訓練
6/23	第1回評議員会
7/5	害虫駆除
7/10	循環配管除菌洗浄
7/13	消防設備点検
7/15	入所判定会
7/22	火災防災訓練
8/2	レジオネラ菌検査
8/5	害虫駆除
8/17	全館掃除
9/12	害虫駆除
10/11	害虫駆除
10/15	入所判定会
11/2	害虫駆除
11/2	空調機保守点検
12/1・12/2	全館掃除
12/2	第2回理事会
12/4	カーペット清掃
12/12	害虫駆除
12/16	地震・火災防災訓練
1/11	害虫駆除
1/13	入所判定会
1/26	実地指導(野中)
2/6	消防設備点検
2/9	特殊建築物調査
2/13	害虫駆除
2/21	受水槽清掃
2/25	地下タンク漏洩検査
3/8	害虫駆除
3/17	第3回理事会
3/27	第2回評議員会
3/31	レジオネラ菌検査

別紙1

研　修　会　参　加　記　録

No.	日　　程	研　　修　　会　　名	開　催　地	参　　加　　者　　氏　　名	備考
1	4月22日	事故事例検討会	web	横山裕輝	
2	5月13日	福祉・介護関係事業所合同入職式	web	西谷梓	
3	5月28日	あみオンライン研修会、保護膜モデルのすすめ	web	山田麻美	
4	6月18日 ～ 7月3日	令和4年度介護養成研修等指導員講習会	松　山　市	武本久美子・神川愛子	
5	7月4日	ノーリフティングケア普及啓発事業マネジメント研修	web	武智恵子	
6	7月26日	ケアハウス職員研修会	web	権田哲郎・森川大	
7	7月29日	社会福祉法人セミナー	web	権田哲郎	
8	8月4日	障がい者雇用促進セミナー	web	山田麻美	
9	8月25日	改正育児・介護休業法等説明会	web	一木達矢	
10	9月12日	社会福祉法人施設長等研修会	松　山　市	権田哲郎	
11	9月23日 ～ 10月3日	介護支援専門員更新研修【研修過程Ⅱ】	web	武田あけみ	
12	9月27日 ・ 9月28日	四国老人福祉施設関係者研究大会	web	権田哲郎	
13	10月6日	安全運転管理者講習	伊　予　市	一木達矢	
14	10月7日	高齢者雇用推進セミナー	松　山　市	権田哲郎	
15	10月19日	愛媛県社会福祉法人経営青年会「第1回研修」	松　山　市	権田哲郎	
16	11月14日	社会福祉法人監事監査研修会	web	権田哲郎	
17	11月15日	愛媛県年金委員関係功労者表彰及び研修会	松　山　市	権田哲郎	
18	12月23日	高次機能障害普及事業	web	山田麻美	
19	1月26日	退職共済実務者研修会	web	一木達矢	
20	2月27日	社会福祉法人の事業継続に向けた取組と推進	web	一木達矢	
21	2月27日	愛媛県社会福祉法人経営青年会「第3回研修」	松　山　市	権田哲郎	
22	2月28日	令和4年度第2回総会・施設長会	松　山　市	権田哲郎	
23	3月6日	愛媛県老施協　コンプライアンス研修会	松　山　市	権田哲郎・一木達矢	
24	3月10日	第2回社会福祉法人セミナー	松　山　市	権田哲郎	
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					

【部門別目標及び事業所別 年度取り組みと評価】

施設部門

【特養目標】利用者の笑顔あふれる施設づくり

指定介護老人福祉施設　なかやま幸梅園　**（定員：30 名）**

① 入居率 99.0%以上の達成
➡入居率実績　98.4%　　※入院延日数 139 日　（対象者５名）

② 個別ケアの機能強化を図る為に、定期的なアセスメント及び、プラン実施状況の確認、モニタリング（評価）を踏まえての計画の見直し等、ＰＤＣＡに沿ったサービス提供を行うと共に、不適切ケアの解消に向けた体制強化に取り組む。
➡個別の利用者担当及び、介護支援専門員にて定期的なケアプランに対する評価、見直しを実施し、併せて、排泄、褥瘡予防、看取り介護それぞれの各委員会担当者と連携しながらケアの改善やサービスの向上に取り組んだ。また、法人内や外部主催の研修会への参加や、特に不適切ケアの改善については部署内でのアンケートを実施すると共に、それを基に個別面談を実施し、課題抽出及び、スタッフへの再認識を図る取り組みを行った。

③ タブレット端末の導入により、デジタル化、ネットワークの構築等、ＩＴ化を推進し、業務の省力化、効率化及び、コスト削減を目指す。
➡介護記録に要する業務負担軽減に繋がったことで直接的なケア対応の確保に繋がった。また、排泄や食事、水分摂取量、あるいは医療面でのバイタルサイン等に関する一元的、かつ、効率的なデータ管理が可能となった。

④ 入居者全体の重度化や容態の急変等、医療ニーズが多様化する中で、日頃からの健康把握や僅かな体調変化等の対応及び、ターミナル期での「介護・医療」の連携強化を図る。
➡今年度は医師と連携を図りながら６件のターミナルケアに対応し、家族との相談や状態報告等の対応を行った。また、容態変化により５名が医療機関に入院し、うち２名がそのまま退去した。また、ターミナル状態での退院受入れのケースでは家族及び医療機関と連携しながら対応を行った。

⑤ 新型コロナウイルス感染予防、防止等については継続して対策の強化に取り組むと共に、家族や地域住民等との交流の機会を確保し、併せて家族会活動の再開に向けた準備を行う。
➡全体行事については縮小した内容で実施し、定期的なレク活動等についても、感染対策を講じつつ部分的に再開した。また、家族会活動は実施できなかったが、日常の様子を写真やメッセージ等で家族に伝えたり、家族からのメッセージを入居者に伝えるなどの間接的なふれあいの支援を行った。

指定介護老人福祉施設(定員　30名)

１．市町村別

出　身　地	男　　性	女　　性	合　　計
伊予市(中山町)	4	21	25
伊予市(双海町)		2	2
伊予市(旧伊予)	2	1	3
合　　計	6	24	30

２．年齢構成

年 齢	男性	女性	合計
～　64歳			
65　～　69歳		1	1
70　～　74歳	1	1	2
75　～　79歳		2	2
80　～　84歳	2	4	6
85　～　89歳	2	7	9
90　～　94歳	1	6	7
95　～　99歳		2	2
100歳　～		1	1
合　　計	6	24	30

平均年齢

男　　性	84.6歳
女　　性	86.8歳
全　　体	86.4歳

最高年齢　　100 歳　7ヶ月
最少年齢　　 66 歳　6ヶ月

３．在籍期間

在　籍　期　間	男性	女性	合計
1年以内	1	6	7
1年以上～2年未満	1	3	4
2年以上～3年未満	1	5	6
3年以上～4年未満	2	2	4
4年以上～5年未満		2	2
5年以上～6年未満		1	1
6年以上～7年未満		1	1
7年以上～8年未満			
8年以上～9年未満		1	1
9年以上～	1	3	4
合　計	6	24	30

４．身体状況

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

	男性	女性	合計
正常			
J1			
J2		1	1
A1	1	1	2
A2		3	3
B1	2	7	9
B2		7	7
C1	2	4	6
C2	1	1	2
合計	6	24	30

※「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」による

認知症高齢者の日常生活自立度

	男性	女性	合計
正常			
Ⅰ		1	1
Ⅱa		1	1
Ⅱb		1	1
Ⅲa	3	11	14
Ⅲb	1	2	3
Ⅳ	1	7	8
M	1	1	2
合計	6	24	30

※「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

５．要介護度の推移

	令和2年3月31日	令和3年3月31日	令和4年3月31日	令和5年3月31日
要介護1				
要介護2	1	1		
要介護3	4	3	2	1
要介護4	19	17	16	16
要介護5	5	9	12	13
合　計	29	30	30	30
平　均	3.97	4.13	4.33	4.40

６．入退居状況

	延べ利用者数		入退居者数				
	平均入居者数	のべ人数	在籍者数	入居者数	退居者数		
					施設死亡	病院死亡	その他
	人	人	人	人	人	人	人
4月	30.0	900	30				
5月	30.0	930	31	1	1		
6月	30.0	900	30				
7月	30.0	930	30				
8月	29.9	928	31	1	2		
9月	29.1	873	31	1		1	
10月	29.6	918	32	2	1		
11月	28.9	867	30		1		
12月	28.9	897	31	1			
1月	28.6	886	32	2	1	1	
2月	28.0	812	30				
3月	29.8	923	30				
合計		10,764		8	6	2	

稼働率

令和　4年度　98.30%
令和　3年度　98.40%
令和　2年度　99.50%
令和　1年度　98.60%

７．入院状況

	入院日	退院日	病　　名	日数	入院場所	備考
1	9月5日	9月30日	肺炎	26	松山市民病院	9/30退居
2	10月30日	11月26日	右大腿骨骨折	28	愛媛生協病院	
3	11月24日	12月18日	肺炎	25	松山市民病院	
4	12月26日	1月10日	肺炎	16	松山市民病院	1/10死亡
5	1月24日	3月8日	誤嚥性肺炎・胃ろう造設	44	奥島病院	
				139		

入院延べ日数	令和　4年度	139日
	令和　3年度	131日
	令和　2年度	0日
	令和　1年度	137日

８．受診状況

	総数	内科		外科		精神科		整形		皮膚科		泌尿器科		眼科		歯科		耳鼻科		婦人科		救急
		内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	
4月	109	71	1			11			1							25						
5月	125	91			1	11					1				1	20						
6月	104	68	1		1	10									1	17	6					
7月	117	79				10										25	3					
8月	121	94				14										13						
9月	100	70				14										15						1
10月	108	74	2			12			1							18						1
11月	129	95	2		2	10									2	15	2					1
12月	116	88				13										14						1
1月	94	79			1	11			1						1							1
2月	98	64				11										23						
3月	91	52	2		1	11			1		1				1	22						
計	1,312	933		6		138		4		2				6		218						5

９．クラブ活動・レク活動

曜日	クラブ・レクリエーション活動
日	ビデオ鑑賞他
月	フラワーアレンジメント他
火	ふれあい時間（爪切り・耳掃除）
水	書道クラブ
木	スポーツ他
金	音　楽　クラブ
土	喫　茶

10．行事

4月	花見
5月	母の日会
6月	父の日会・焼肉パーティ
7月	スポーツレクリエーション
8月	夏祭り・慰霊祭・そうめん流し・老人クラブ訪問
9月	敬老会
10月	芋炊き・餅つき
11月	文化祭（野点・音楽行事）・亥の子
12月	シェイクアウト（地震防災）訓練・忘年会・クリスマス会・しめ縄作り・餅つき
1月	歳旦祭・新年会
2月	節分「豆まき」
3月	スポーツレクリエーション

11.事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

	月日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	10月29日	女	転倒骨折	居室	車椅子にて居室誘導後、介助者が少し離れた際に、被事故者自身が床に落としたマスクをうつむき拾おうとしたため、車椅子が前に傾き膝から転倒し、骨折した。	家族及び、主治医に連絡。家族から直ちに動けないので一晩様子を見て、明日の対応を希望。翌日、救急搬送にて診断の結果、右大腿骨骨折との診断。 搬送先の病院にて入院、手術予定となる。

事故発生状況　　2022　　介護老人福祉施設 なかやま幸梅園

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	1		1									2
居 室	有	1											1
	無			5						1		1	7
食 堂	有												
	無											1	1
トイレ	有												
	無	3		1									4
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無											1	1
小 計	有	1											1
	無	4		7						1		3	15
合 計		5		7						1		3	16

（評価）

発生している事故は居室内やホールでの同一者による転倒、ずり落ち等が多くを占める状況であるが、全体的な発生件数としては極端な減少傾向を示している。主な要因としては重度化に伴い、独歩での歩行可能な入居者が1名のみとなったため、これまで多数発生していた転倒事故が大幅に減少したと分析している。また、今後においては拘縮や、ADLの低下した入居者への対応に伴い、ベッドや椅子からのずり落ちや、移乗介助や着脱時の過程における表皮剥離等の事故リスク増加が見込まれることから、安全対策に関する評価や、予防的な環境整備に向けて積極的に取り組む必要がある。

ヒヤリハット件数　13件

12.苦情発生の状況

苦情発生　なし

【短期入所共通目標】在宅生活維持に向けた適切なサービス提供

- ✧ 利用者一人ひとりが安心して在宅生活が継続できるようサービスを提供する。
- ✧ 心身状態や介護方法等の情報を共有し、希望に沿ったサービス提供に繋げる。
- ✧ 医療依存度の高い利用者への適切なサービス提供体制の構築を図る。
- ✧ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。

指定短期入所生活介護・介護予防事業所　なかやま幸梅園　**（定員：10 名）**

① 稼働率目標　９６％
➡稼働率実績は 89.6%

② 居宅サービス計画を基本として、日常生活の様子や健康状態を観察しながら、生活課題に対するケアを中心に生活機能の維持、向上に繋がるサービスを提供する。
➡家族、居宅介護支援事業所、及び他のサービス事業所等、各関係機関と連携しながら概ね適切にサービスを提供できた。

③ 体調が不安定な状態やターミナル期等の利用希望に対し、主治医等と連携して柔軟な受入体制を維持すると共に災害発生時等にも地域の福祉施設としての機能の推進を図る。
➡主治医及び担当ケアマネージャー（介護支援専門員）と連携しながら家族の介護負担や都合等を踏まえながら医療依存度の高い利用者の受け入れや、災害（台風接近など）警報発令時や大雪による帰宅困難者等に対して、担当ケアマネージャー及び、行政等と相談しながら山間地区に居住する独居や高齢者夫婦世帯等、要援護高齢者の緊急的な受け入れ対応も行った。

令和4年度　　**指定短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園 利用実績**

１．事業内容　区分：短期入所生活介護〔併設型〕
体制：送迎体制〔あり〕

２．開所日数　：　365日

■ 利用定員　：　10名

■ 稼働率　：　89.6%

■ サービス期間　：　令和4年4月1日～令和5年3月31日

３．利用実績

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者数		22	19	21	22	18	21	23	19	20	14	17	19	235
介護度別利用状況	要支援1													
	要支援2									9	12			21
	要介護1	31	28	27	22	51	46	33	28	37	37	48	63	451
	要介護2	115	156	130	120	69	107	107	78	63	56	77	67	1,145
	要介護3	32	4	21	27	30	61	49	51	80	56	39	16	466
	要介護4	93	101	108	120	91	75	82	79	88	63	87	105	1,092
	要介護5	21	9	6	6		3	3	3	3		22	19	95
	合　計	292	298	292	295	241	292	274	239	280	224	273	270	3,270
	1日平均	9.7	9.6	9.7	9.5	7.8	9.7	8.8	8.0	9.0	7.2	9.8	8.7	9.0
送迎利用実績		62	56	61	72	43	53	51	40	39	12	40	41	570

４．年間利用状況推移

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	292	298	292	295	241	292	274	239	280	224	273	270	3,270
令和3年度	248	300	267	296	292	290	311	294	311	321	305	307	3,542
令和2年度	299	296	296	299	308	289	306	296	302	288	253	274	3,506
令和1年度	291	312	300	290	304	292	293	307	304	312	266	237	3,508

5. 事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

受診を伴う事故発生なし

事故発生状況　2022　短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	2					2					1	5
居 室	有												
	無	4		1									5
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無	1											1
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無												
小 計	有												
	無	7		1			2					1	11
合 計		7		1			2					1	11

発生状況としては転倒が7件、ずり落ち1件、誤薬2件、配膳の間違いが1件、それぞれの発生状況であった。
全体としては居室及び、ホールでスタッフ不在時に発生した転倒事故が多くを占めており、事故検証や再発防止対策について、担当ケアマネージャー及び、他部署スタッフとも情報共有しながら効果的な対策の検討が必要である。また誤薬事故が2件発生しており、いずれも健康被害には至らなかったが、適正な手順や確認が行われているか、看護、介護の連携及び　チェック体制の強化が必要である。

ヒヤリハット件数　3件

6. 苦情発生の状況

苦情発生　なし

基準該当短期入所生活介護・介護予防事業所　野中　（定員：6 名）

① 稼働率目標　96%

➡稼働率の実績　76.3%、1 日の平均利用者数　4.6 人　目標達成率　79.5%

令和 4 年度は 7 月までは稼働率が 93%と目標に近い水準で事業が運営できていたが、8 月のコロナウイルス感染に関する対応で、10 日間の受け入れ中止（レッドゾーン対応のため）と 4 日間の閉鎖に伴い大幅な減少となった。その後、徐々に利用者数が増加していたが、11 月から特養への入居が 2 名、老健への入居が 3 名、入院が 3 名と大幅な利用者数の減少となった。新規の利用者は数名いたが、継続して利用する状況にはならなかったため、利用者数減のカバーができなかったことが減少の要因となった。

② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。

➡利用時の健康チェックや、定期的に自宅での状況を確認することで、健康状態の把握ができた。体調不良を早期に発見することはできたが、今年度は入院治療になることが多かった。体操や生活リハビリを行うことで残存機能の維持に繋がり、転倒による骨折の入院は 1 件もなかった。

③ 慣れた環境で安心して生活ができるよう、併設している通所介護事業所と一体的にサービスを提供する。

➡日中は慣れた場所・人と過ごすことで、精神的安定が図れた。また、対応に関しても通所介護・短期入所で統一を図ることで安心して過ごすことができた。

令和4年度

短期入所生活介護事業所 野 中 利用実績

１．事業内容

区分: 短期入所生活介護〔単独型〕基準該当
体制: 送迎体制〔あり〕

２．開所日数

: 361 日 (8月に4日間閉鎖)

■ 利用定員 : 6名

■ 稼働率 : 76.3%

■ サービス期間 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日

３．利用実績

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		30	31	30	31	27	30	31	30	31	31	28	31	361
利用者数		16	13	15	16	11	12	12	14	12	13	10	9	153
介護度別利用状況	要支援										6			6
	要介護1			4	6		10	8	15	22	9	11	13	98
	要介護2	31	31	51	64	35	44	35	35	55	67	36	36	520
	要介護3	92	59	38	20	10	17	26	32	20	18	25	25	382
	要介護4	54	85	76	75	51	58	95	50	30	26	37	28	665
	要介護5													
	合 計	177	175	169	165	96	129	164	132	127	126	109	102	1,671
	1日平均	5.9	5.6	5.6	5.3	3.6	4.3	5.3	4.4	4.1	4.1	3.9	3.3	4.6
平均介護度		2.8	3.0	2.9	2.8	2.9	2.7	3.0	2.9	2.3	2.4	2.8	2.6	2.8
送迎利用実績		65	54	46	67	29	57	62	55	55	54	54	60	658
野中地区の利用者数		73	76	71	73	37	85	94	60	80	79	57	58	843
野中地区の利用者割合		41%	43%	42%	44%	39%	66%	57%	45%	63%	63%	52%	57%	51%

４．年間利用状況推移

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和4年度	177	175	169	165	96	129	164	132	127	126	109	102	1,671
令和3年度	146	183	156	166	184	179	186	177	175	172	160	163	2,047
令和2年度	180	182	180	181	184	179	174	175	185	180	166	188	2,154
令和1年度	177	187	173	182	180	179	182	173	182	170	164	178	2,127

5. 事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	発生場所	事故状況	対応・処置内容等
1	6月6日	女	転倒	居室	居室にて自力更衣をしていたので、時間をおいて確認のため訪室すると、ベット横で立っており、バランスを崩して転倒した	痛みの訴え強く、病院受診をした。CTを撮り肋骨8番9番が骨折していた。胸部固定帯を使用し安静との指示が出た。その後異常なし
2	11月2日	女	転倒	居室	居室より物音がしたため確認すると、入口付近で正座をした状態で転倒しているのを発見した	左目充血と左額の腫れがあったため、脳神経外科と眼科を受診した。検査結果に異常はなく様子観察の指示が出た。その後異常なし
3	11月16日	女	転倒	居室	居室で一人でポータブルトイレを使用していた際に、トイレットペーパーが転がり、取ろうとして、前方に転倒した	右眼尻に腫れがあり、右目が充血したため、病院受診をした。特に異常はないので目薬を入れて様子観察をするよう指示が出た。その後異常なし
4	2月27日	女	転倒	居室	居室より物音がしたため確認すると、ベッド横に立っており、バランスを崩して転倒した	左頭部を打ったため病院受診をする。特に異常はなかったため、様子観察の指示が出た。その後異常なし

事故発生状況　2022　短期入所生活介護事業所 野中

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居 室	有	4											4
	無	1		2									3
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無												
小 計	有	4											4
	無	1		2									3
合 計		5		2									7

（評価）
　夜間に一人で行動を起こして、転倒するという居室での事故が多くなっている。薬の副作用や身体機能の低下に伴う事故が多くなっている。身体機能の低下により、頭や目の周辺を打撲する確率が上がっており、病院受診を伴う事故が多く起きた。ナースコールのお願いと、行動時に安全に動くことができるよう環境整備をしていく必要があると思われる。

ヒヤリハット件数　　5件

6. 苦情発生の状況

苦情発生なし

デイサービス部門

【デイ共通目標】身体機能の維持・改善、利用者の笑顔あふれるデイサービスへ

- ✧ 利用者一人一人の特性等に合わせたサービスの提供をする。
- ✧ 地域住民との交流を図り、地域との「なじみの関係」を築いていく。
- ✧ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。
- ✧ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

通所介護事業所なかやま幸梅園　**（定員：30 名）**

① 利用者の目標　延べ 580 人/月（平均 22.2 名　稼働率　74%）稼働日 313 日
➡実績延べ人数 484 人/月　1 日の利用平均 19.2 名　稼働率 64.3%
目標達成率は　　87%（稼働日：301 日）
例年４月、５月から少しずつ利用者数が増加する傾向にあったが、令和４年度は６月からも利用者数が回復せず、コロナウイルスによる事業閉鎖や大雪の影響も重なり１年を通して低迷が続いた。３月に入り新規利用者が増加したが、最終の利用者数は昨年度の 83%に留まった。今後も新規利用者の大幅な獲得は見込めないため、レクリエーションやリハビリを見直し、既存の利用者の回数を増やすなどの対応が求められる。

② 利用者の介護ニーズの多様化に対応するため、サービス内容について検討し、個々に合ったケアができるよう努める。
➡朝の準備が難しい利用者への対応として、家族と相談のもと昼からの短時間利用を開始した。又、裁縫や点描など年間を通してできるレクリエーションの提供を行ない、楽しみを持って利用することに繋がった。

③ 関係機関と連携をとりながら、自立した生活を営むことができるよう必要に応じた機能訓練を実施する。
➡コロナ禍による下肢筋力の低下を予防するため、訪問看護等と連携を図り、デイサービスでできる個人のリハビリを検討し対応した。また、歩行を希望する利用者と共に園内散歩を行い、体力・下肢筋力低下の予防に努めた。

令和4年度

指定通所介護事業所 なかやま幸梅園

１．事業内容　区分：通所介護〔併設型〕利用定員 30名
体制：入浴介助体制〔あり〕加算
：送迎体制　〔あり〕

２．開所日数　：　301　日　（稼働率 64.3%）7月コロナにより3日閉鎖　8月コロナにより5日閉鎖
1月コロナにより4日閉鎖

３．利用実績

（単位：人）

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数		62	63	64	63	59	61	59	56	53	49	53	59	701
介護度別利用者数	要支援1･2	110	104	111	100	81	109	109	109	88	52	79	108	1,160
	要介護1	235	231	232	199	163	158	181	183	187	132	146	164	2,211
	要介護2	113	104	113	120	117	144	135	119	113	85	108	137	1,408
	要介護3	78	71	59	48	36	62	51	32	27	25	24	61	574
	要介護4	39	37	54	52	28	29	37	35	21	8	28	44	412
	要介護5		5	4	3	2	1	4	2	8	6	1	2	38
	合計	575	552	573	522	427	503	517	480	444	308	386	516	5,803
開所日数		26	26	26	23	22	26	26	26	27	22	24	27	301
1日平均		22.1	21.2	22.0	22.7	19.4	19.3	19.9	18.5	16.4	14.0	16.1	19.1	19.2
延べ入浴者数		440	422	445	401	323	387	392	373	350	235	306	424	4,498
平均入浴者数		16.9	16.2	17.1	17.4	14.7	14.9	15.1	14.3	13.0	10.7	12.8	15.7	14.9

４．要介護度別利用者状況

介護度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	19	18	19	18	18	19	19	19	18	17	17	18	219
要介護1	21	24	23	23	21	19	18	17	17	15	16	19	233
要介護2	11	10	11	11	11	13	12	12	11	10	11	11	134
要介護3	7	6	5	4	4	5	5	3	3	3	3	4	52
要介護4	4	4	5	6	4	4	4	4	3	3	5	6	52
要介護5		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
合計	62	63	64	63	59	61	59	56	53	49	53	59	701
平均介護度	1.4	1.5	1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5
要支援の割合	31%	29%	30%	29%	31%	31%	32%	34%	34%	35%	32%	31%	31%

５．介護度別利用者年齢構成

介護度	要支援		要介護１		要介護２		要介護３		要介護４		要介護５		合計
性別 / 年齢階層	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳					1					2			3
70歳～79歳	2		2		1		1				1		7
80歳～89歳	2	8	3	5	3	3	1	1		2			28
90歳以上	2	4	3	6	2	1		1		2			21
総計	18		19		11		4		6		1		59

6．年間利用状況推移

年度 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	575	552	573	522	427	503	517	480	444	308	386	516	5,803
令和3年度	561	623	638	689	646	682	646	572	561	444	449	584	7,095
令和2年度	623	645	656	679	640	671	660	594	634	525	511	559	7,397
令和1年度	606	611	584	642	636	627	715	634	604	599	587	582	7,427

7. 事故状況　　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	発生場所	事故状況	対応・処置内容
1	6月6日	女	爪剥がれ	浴室脱衣場	入浴のため靴下を脱いだ際に爪が剥がれていた	ガーゼ保護　抗生物質7日分処方 毎日消毒
2	8月4日	男	アクリルボードにて右目裂傷	デイルーム	椅子に座る際に痛みの訴え、確認するとアクリルボードに右目が当たったとのこと	傷口を縫合 点眼　抗生物質処方される
3	9月3日	男	切り傷	デイルーム	体操のために椅子の向きを変える際に右手、第一・二指から出血していた	軟膏塗布　ガーゼ保護　1週間の消毒　処置
4	10月5日	男	切り傷	送迎車内	車から降りる際に左手甲に1.5cm程の表皮剥離あり シートベルトをつける際に職員の爪が当たったとのこと	イソジン消毒　軟膏塗布 抗生物質5日分処方

事故発生状況　　2022　　通所介護事業所 なかやま幸梅園

発生内容／発生場所	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居　室	有												
	無												
食　堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無	1											1
浴　室	有												
	無									1			1
デイルーム（娯楽室）	有												
	無	1											1
施設外	有												
	無								1				1
その他	有									2		2	4
	無											1	1
小　計	有									2		2	4
	無	2							1	1		1	5
合　計		2							1	3		3	9

（評価）
表皮剥離に関する事故が3件あった。皮膚が弱くリスクのある利用者への対応について職員間で情報を共有した。転倒の事故が2件あり、利用者の体力・下肢筋力の低下がみられる。体操・リハビリを通して低下予防の必要性を感じた。
受診を伴う事故は4件あり。

ヒヤリハット件数　　8件

8. 苦情発生の状況

苦情発生なし

地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所　佐礼谷　（定員：18 名）

① 利用者数の目標　延べ 320 人／月　　１日の平均利用者数　12.3 人（稼働日:313 日）
➡延べ人数 285 人／月　１日平均利用人数 11.1 人　目標達成率は 89%
（稼働日：308 日）
４月から７月にかけては昨年度と同等の利用者数であったが、８月はコロナ感染による５日間の休園もあり、１００名近い利用者減となった。その後も新規の利用など増える状況がないまま、冬季には積雪やコロナ感染の疑い等で休まれる方が多くいた。結果として目標を達成する事ができなかった。

② 地域の医療機関と連携強化を図り、在宅生活が継続できるよう支援する。
➡コロナ感染等の情報を医療機関と共有することで、感染の蔓延を防ぐことができた。また、デイサービス利用状況を医療機関と相互に把握することで、利用中だけでなく、自宅での安心にも繋がった。

③ 生きがいのある生活が送れるよう、個々の趣味や能力に応じた活動を提供する。
➡利用者一人ひとりに合った活動が提供できるよう、活動内容の増加を図った。特に脳トレプリントの活用は能力に応じた脳トレが可能となり、積極的な参加が見られた。内容に変化を加えながら今後も続けていきたい。

令和４年度

指定通所介護事業所 佐 礼 谷 利用実績

１．事業内容　区分: 通所介護〔地域密着型〕利用定員 18名
体制: 入浴介助体制〔あり〕加算
: 送迎体制　〔あり〕

２．開所日数　: 308　日　(稼働率:60.7%)　8月コロナにより5日間停止

３．利用実績

(単位:人)

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実利用人数		32	32	32	33	30	33	35	34	31	27	29	29	377
介護度別利用者数	要支援1･2	25	26	25	31	21	27	31	32	28	28	42	40	356
	要介護1	129	143	126	144	98	124	128	122	100	68	76	94	1,352
	要介護2	93	94	91	77	31	60	63	59	42	29	31	36	706
	要介護3	47	38	66	58	52	57	68	56	58	60	47	44	651
	要介護4	17	10		3	8	25	48	28	28	34	28	28	257
	要介護5	9	9	8	9	5	9	8	9	10	9	8	9	102
	合 計	320	320	316	322	215	302	346	306	266	228	232	251	3,424
開所日数		26	26	26	26	22	26	26	26	27	26	24	27	308
1 日 平 均		12.3	12.3	12.2	12.4	9.8	11.6	13.3	11.8	9.9	8.8	9.7	9.3	11.1
延べ入浴者数		241	242	235	233	153	221	245	220	194	162	157	176	2,479
平均入浴者数		9.3	9.3	9.0	9.0	7.0	8.5	9.4	8.5	7.2	6.2	6.5	6.5	8.0

４．要介護度別利用者状況

介護度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援	5	5	5	6	6	6	6	6	6	5	8	8	72
要介護1	12	13	13	13	13	14	15	15	12	10	10	11	151
要介護2	10	10	9	8	4	5	5	5	5	4	4	4	73
要介護3	3	2	4	4	4	4	5	4	4	4	3	2	43
要介護4	1	1		1	2	3	3	3	3	3	3	3	26
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合　計	32	32	32	33	30	33	35	34	31	27	29	29	377
平均介護度	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7
要支援の割合	16%	16%	16%	18%	20%	18%	17%	18%	19%	19%	28%	28%	19%

５．介護度別利用者年齢構成

介護度	要支援		要介護１		要介護２		要介護３		要介護４		要介護５		合計
性別／年齢階層	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳													
70歳～79歳			1										1
80歳～89歳		4	1	3		1	1		1	1			12
90歳以上	1	3	1	5		3		1		1		1	16
総計	8		11		4		2		3		1		29

６．地域別利用者数

月／地域名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
佐礼谷	21	21	21	22	19	22	23	22	19	16	18	19	243
中山	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4	58
双海	5	5	5	5	5	6	6	6	6	5	5	5	64
平岡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	32	32	32	33	30	33	35	34	31	27	29	29	365
佐礼谷割合(%)	65.6	65.6	65.6	66.7	63.3	66.7	65.7	64.7	61.3	59.3	62.1	65.5	66.6

7．年間利用状況推移

月／年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	320	320	316	322	215	302	345	306	266	228	232	251	3,423
令和3年度	289	300	304	334	319	347	363	313	304	265	264	296	3,698
令和2年度	325	355	322	308	323	326	342	295	311	258	253	288	3,706
令和1年度	306	316	278	293	274	257	276	287	280	252	276	288	3,383

8. 事故状況

（医療機関受診を伴う事故）

受診を伴う事故発生なし

事故発生状況　2022　通所介護事業所 佐礼谷

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	1					2					2	5
居 室	有												
	無												
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無	1											1
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無	1											1
その他	有												
	無	1											1
小 計	有												
	無	4					2					2	8
合 計		4					2					2	8

（評価）

誤薬事故について、1件は薬の持参が無いと思い服薬しなかった。2件目は、迎え時に朝の服薬確認を行ったが昼食後に本人がポケットに入れていた朝の薬をもう一度飲んでしまったという内容であった。いずれの事故も、連絡ノートの確認だけではなく、身の回りの確認不足から発生したものであり、連絡ノートや薬入れの確認に加え、手荷物やポケットの中も確認することで再発防止対策としている。

転倒事故については、歩行状態は問題無いと職員が過信していたことにより発生した事例が多く、転倒予防のためだけでなく、生活全般の事故予防のためにも、小さな変化に注意しながら、全職員で共有することが必要である。

ヒヤリハット件数　　６件

9. 苦情発生の状況

苦情発生なし

地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所　野中　（定員：16 名）

① 利用者数の目標　延べ 300 人／月　1 日の平均利用者数 9.9 人　稼働率 62%（稼働日：365 日）

➡実績延べ人数　239 人/月　1 日の平均利用者数　8.1 人　稼働率　49.2%

目標達成率は 79.8%　（稼働日：355 日）

令和４年度は例年通りの水準で４月・５月と進んだが、６月から２名の入院、２名の老健への入所があり、８月にはコロナウイルス感染に伴う事業所の閉鎖（10 日間）や、９月にかけてもコロナウイルス感染や体調不良が続き減少となった。その後も 11 月から特養への入居が２名、老健への入居が３名、入院が３名と大幅な利用者数の減少となった。令和４年度は新規利用者が２名だったため、利用者数減のカバーができなかったことが減少の要因となった。

② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。

➡利用時の健康チェックや、定期的に自宅での状況を確認することで、健康状態の把握ができた。体調不良を早期に発見することはできたが、今年度は入院治療になることが多かった。体操や生活リハビリを行うことで残存機能の維持に繋がり、転倒による骨折の入院は１件もなかった。

③ 地域行事等への参加をすることで、多くの関わりを持ち「なじみの関係」を築く。また、広報誌等により活動報告をすることで、事業所への理解を深めてもらえるよう、情報の発信をする。

➡コロナの対応に伴い、継続的に地域で実施されているミニデイサービスへの参加はできなかった。また、地域行事も中止となり、参加をすることはできなかった。しかし、送迎時等に地域の人に声をかけることで交流を持つことができた。広報誌に関しては、地域の関わりのある人のみの配布にとどまった。

令和4年度

指定通所介護事業所 野 中 利用実績

１．事業内容　区分: 通所介護〔単独型〕利用定員 16名

体制: 入浴介助体制〔あり〕加算

: 送迎体制　〔あり〕

２．開所日数　:　355 日 (8月に10日間閉鎖)　稼働率:49.2%

３．利用実績

(単位:人)

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実利用人数		30	30	28	28	26	27	29	26	25	23	21	20	313
介護度別利用者数	要支援1･2	29	31	30	21	13	23	21	16	15	8	9	12	228
	要介護1	66	75	69	77	51	70	73	70	53	44	30	35	713
	要介護2	103	111	110	132	75	100	129	121	89	89	83	102	1,244
	要介護3	38	27	30	15	9	13	13	12	12	13	11	9	202
	要介護4	52	53	39	41	24	43	49	39	44	34	30	36	484
	要介護5													
	合 計	288	297	278	286	172	249	285	258	213	188	163	194	2,871
1 日 平 均		9.6	9.6	9.3	9.2	8.2	8.3	9.2	8.6	6.9	6.1	5.8	6.3	8.1
月～土曜日平均		10.6	10.8	10.2	10.4	8.7	9.2	10.3	9.4	7.6	6.9	6.5	7.0	9.0
日曜日平均		3.3	3.4	3.3	3.0	3.0	2.3	3.4	3.5	2.0	1.8	2.0	1.3	2.7
延べ入浴者数		206	222	200	210	124	177	216	192	163	138	113	130	2,091
平均入浴者数		6.9	7.2	6.7	6.8	4.0	5.9	7.0	6.4	5.3	4.5	4.0	4.2	5.7
野中地区の利用者数		199	193	177	182	112	164	190	163	132	119	93	118	1,842
野中地区の利用者割合		69%	65%	64%	64%	65%	66%	67%	63%	62%	63%	57%	61%	64%

４．要介護度別利用者状況

介護度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援	5	5	5	4	4	4	4	3	3	2	3	3	45
要介護1	6	6	6	6	6	6	6	7	7	6	4	4	70
要介護2	10	10	8	10	10	10	11	10	9	9	8	8	113
要介護3	5	4	5	3	2	2	2	2	2	2	3	2	34
要介護4	4	5	4	5	4	5	6	4	4	4	3	3	51
要介護5													
合 計	30	30	28	28	26	27	29	26	25	23	21	20	313
平均介護度	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	2.0	2.1	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0
要支援の割合	17%	17%	18%	14%	15%	15%	14%	12%	12%	9%	14%	15%	14%

５．介護度別利用者年齢構成

介護度	要支援		要介護１		要介護２		要介護３		要介護４		要介護５		合計
性別／年齢階層	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳													
70歳～79歳	1					1							2
80歳～89歳		2	1	2	1	1				1			8
90歳～				1	2	3		2		2			10
総計	3		4		8		2		3				20

６．年間利用状況推移

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	288	297	278	286	172	249	285	258	213	188	163	194	2,871
令和3年度	270	291	316	339	325	305	350	349	333	280	261	278	3,697
令和2年度	322	344	336	332	329	342	313	265	298	260	254	293	3,688
令和1年度	318	321	316	345	308	320	347	273	258	260	292	323	3,681

7. 事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

受診を伴う事故なし

事故発生状況　2022　通所介護事業所 野中

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居 室	有												
	無												
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無		1									1	2
施設外	有												
	無	2											2
その他	有												
	無												
小 計	有												
	無	2	1									1	4
合 計		2	1									1	4

（評価）
今年度は屋外（玄関周辺）での転倒事故が発生した。階段、段差やスロープがあり、危険個所が多い場所でもある。屋外につき環境整備は難しいので、移動の方法やルートについて検討が必要である。また、屋外の移動時に関するリスクの意識も低かったように思うので、個人の状態を確認し、リスクに関して情報の共有を図る必要を感じた。

ヒヤリハット件数　5件

8. 苦情発生の状況

苦情発生なし

在宅部門

【居宅目標】居宅サービスの計画充実と評価

- ✧ 利用者・家族が今まで通り安心してサービスが利用できるように、介護保険改正に適切に対応する。
- ✧ 達成度を毎月評価し、計画見直しが必要な場合には担当者会議へ繋げる。

指定居宅介護支援事業所　なかやま幸梅園

① 課題分析を充実しケアプランに反映させる。
➡住み慣れた自宅で、その人らしい生活ができるようにケアプランを作成し、課題分析結果を載せることができた。

② 災害時にも活用できるようにアセスメント票を作り変える。
➡日中いる場所、寝る場所、避難場所、最新の処方内容などを記載する予定であったが、処方内容以外は、まだ途中である。

1　サービス計画数

（要支援1・要支援2は伊予市包括支援センターからの委託を受けて実施）　（単位：人）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	50	52	53	53	52	50	53	52	51	52	46	46	610
要介護2	38	38	37	37	36	39	39	39	36	34	35	32	440
要介護3	18	16	18	14	14	15	16	14	14	12	11	12	174
要介護4	15	17	16	16	15	17	17	16	16	20	19	18	202
要介護5	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	26
要介護　計	123	126	126	122	119	123	127	123	119	120	113	111	1,452
要支援1・2	48	49	48	47	49	51	52	52	48	49	51	53	597
事業対象者									1	1	1	1	4
合計	171	175	174	169	168	174	179	175	168	170	165	165	2,053
介護+支援1/2の数	147	151	150	146	144	149	153	149	144	145	139	138	1,753

＜4年間の動き＞　（要支援と事業対象者は二人で一人として計算・ケアマネ1人35人上限）

	計画数	実人数	要介護者数	要支援者数（事業対象者）	ケアマネ数	1人の持ち人数
R4年	1,753	2,053	1,452	597(4)	5	29.2(34.2)
R3年	1,851	2,130	1,572	558	5	30.9(35.5)
R2年	1,849	2,116	1,581	535	5	30.8(35.3)
R1年	1,728	2,004	1,476	504(24)	5	28.8(33.4)

2　契約開始と契約終了の状況

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護、新規契約		2	5	2	2	2	5	4	1	2	3	1	2	31
予防、新規委託		2	1	3	1	2	2	0	1	1	2	1	1	17
契約終了	永眠	3	2	1	2	2	0	0	0	0	0	1	2	13
	施設入所	4	5	0	2	1	3	3	0	5	3	1	1	28

3　加算対応件数

（単位：人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防初回加算	3	2	2	1	3	1	1	2	1	0	3	1	20
介護初回加算	4	4	4	4	3	6	5	1	2	1	0	2	36
入院連携加算	1	3	3	5	3	2	1	5	0	3	3	2	31
退院退所加算	1	1	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0	8
合計	9	10	11	10	9	9	8	10	4	4	6	5	95

4　介護保険代行申請数

（単位:人）

種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	3	4	6	1	1	1	2	0	0	6	0	4	28
更新	16	10	8	9	2	7	10	5	6	5	6	9	93
区分変更	5	1	3	2	2	0	0	0	0	4	3	0	20
合計	24	15	17	12	5	8	12	5	6	15	9	13	141

5　提供依頼状況

サービス種別	年間件数
訪問介護	425
訪問看護	212
通所介護	503
通所リハビリ	12
地域密着通所介護	570
短期入所生活介護	384
認知症短期入所	1
短期入所療養介護	13
福祉用具貸与	922
居宅療養管理指導	11
介護予防訪問介護	256
介護予防訪問看護	100
介護予防通所介護	285
予防短期入所生活介護	2
介護予防福祉用具貸与	257

6　福祉用具購入対応

No.	申請月	福祉用具名
1	4	浴槽台・浴槽手すり
2	6	浴槽台
3	6	浴槽台・浴槽手すり・ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄﾞ
4	6	シャワー椅子
5	7	ポータブルトイレ
6	8	シャワー椅子・浴槽台
7	8	シャワー椅子
8	10	ポータブルトイレ・シャワー椅子
9	10	補高便座
10	11	ポータブルトイレ

7　住宅改修対応

No.	申請月	改修内容
1	5	段差解消・手摺り
2	5	手摺り
3	5	手摺り・扉外開きへ
4	6	手摺り
5	6	段差解消
6	7	手摺り
7	8	手摺り
8	9	手摺り
9	10	手摺り
10	11	手摺り
11	11	手摺り
12	1	手摺り
13	2	手摺り
14	3	段差解消・手摺り

8　サービス担当者会議開催数

（単位:回）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	32	38	36	25	30	31	42	40	26	31	25	26	382

9　主治医への照会依頼（医療系サービスや軽度者の福祉用具レンタルに関する意見の照会等）

（単位:件）

提出月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
町内医院	薬情請求	18	29	31	22	26	13	21	26	21	25	15	20	267
	照会	4	4	5	3	4	1	4	4	2	4	2	1	38
町外	照会	2	1					3	1	1				8

１０　行政への介護保険事業適正化に係るケアプラン点検

（単位:回）

提出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提出プラン数	5	12	4	5	2	5	2	4	0	4	4	6	53

１１　居宅会議開催数

（単位:回）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

１２　地域ケア個別会議

	月日	検討内容	参加者	場所等
1	7月20日	独居の支援2、生命の危険ありも危機感が無い	木戸（事例提供）	伊予市役所4階
2	8月18日	入院中介護1→3。本人は家に帰りたいが、周囲は無理	滝下（主任CM）	Zoom
3	11月17日	AD、飲酒自転車で競輪、肝機能低下、気ままな生活	武田（主任CM）	伊予市役所4階
4	2月16日	独居の支援1.心身共に弱りつつある中、独居を継続するには	佐藤（事例提供）	伊予市役所4階

１３　他事業所との事例検討会

（参加事業所：幸梅園・伊予市社協・伊予診療所・ケアフル伊予）（場所：伊予市社協）

	月日	検討内容	参加者	事例提供	参加人数
1	10月6日	親子二人が安心して在宅生活するには	滝下.武田.木戸.久保.横山	幸梅園	13
2	3月9日	精神科入院中、Drは退院というが、在宅無理、どうする？	滝下.佐藤.木戸.横山	伊予診療所	14

※コロナの関係で、実施は２回となった

１４　研修会等への参加

	月日	内容	参加者	場所等
1	4月14日	地域で生きることを支える～池さんものがたり～	武田	県在介研修センター
2	5月20日	伊予市の健康課題解決「伊予市の現状と血圧」	滝下.武田.木戸.久保.横山	Zoom
3	5月24日	第1回CM連絡会「防災」	滝下.武田.木戸.久保	伊予市役所4階
4	5月27日	最期まで自分らしく生きる	武田.横山	県在介研修センター
5	5月31日	成年後見制度	横山.木戸.久保	伊予市保健センター
6	6月23日	オピニオンリーダー養成講座～その人らしく生きるために～	武田	伊予市役所
7	6月24日	今日から役立つ認知症対策	全員	中山地域事務所
8	8月22日	第2回CM連絡会「権利擁護と生活困窮者自立支援について」	横山	Zoom
9	5/9～10/3	CM更新研修Ⅱ（eﾗｰﾆﾝｸﾞ420分+9/23.9/24.10/2.10/3）	武田	eﾗｰﾆﾝｸﾞ+県福祉会館
10	10月7日	認知症の人の心を知る	武田.木戸	Zoom
11	11月12日	まちの防災について考えよう	武田	さざなみ館
12	11月21日	第3回CM連絡会「地域資源を知ろう」	滝下.武田.木戸.佐藤	伊予市役所4階
13	11月30日	口腔ケア「口から食べたい」	武田.木戸	Zoom
14	12月4日	穏やかな最期と在宅医療の在り方	武田.木戸	にぎたつ会館
15	12月5日	市町消費者安全確保地域協議会研修会	久保	伊予市役所
16	2月20日	第3回CM連絡会「民生委員と地域のｹｱﾏﾈの交流」	滝下.佐藤.久保.横山	伊予市役所4階
17	3月1日	在宅医療・介護連携「がん患者支援・これからの看取り」	滝下.木戸	Zoom
18	3月13日	地域支え合いセミナー～私たちができることを考えよう！～	佐藤	中山地域事務所

１５　介護支援専門員実務研修　見学実習

1名受け入れ　3日間（R5年1/28、1/29、2/7）

１６　その他代行申請

社会福祉協議会ｵﾑﾂ申請（介護4以上、寝たきりか認知症で尿便意なし）⇒ 新規申請数 2件

【在支目標】相談窓口と地域支援の充実

- ✧ 伊予市地域包括支援センターの窓口機関の委託を受け、中山町において支援を必要とする高齢者及び家族などの相談に対応し、必要に応じて関係機関との連絡調整や適切なサービスに繋げる等の支援を行う。
- ✧ 地域ケア会議、一般介護予防、家族介護教室、認知症相談、高齢者配食サービス事業、自主事業「がんばる会」などの支援及び実施する。

在宅介護支援センター　なかやま幸梅園

① 第 6 回中山町健康調査が円滑に実施できるよう、関係機関と連携を取りながら準備を進めていく。また、調査中に対応が必要なケースがあった場合は、早期受診やサービス導入に繋げる。

➡1 月 10 日から 3 月 24 日の間、延べ 58 日間、関係機関と連携を取りながら健康調査のサポートを行った。最終の参加人数は 649 人で高齢者全体の 42.9%であった。（なお、目標数に達していないため R5 年 5 月以降も追加の調査が行われる予定である。）

② 感染症の状況を見ながら、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。また、自主グループの結成に向けて引き続き地域住民と連携をとりながら検討する。

➡3 部落のサロンに対して 4 回、認知症の啓発など予防活動の支援を行った。あいのわの活動に参加し、10 月 1 日には中山コミュニティセンターを会場としたイベントを開催、約 100 名の方が参加された。

③ がんばる会の新規利用者増につながるよう周知活動を行う。独居や高齢者世帯の方へ個別で説明に伺う。

➡健康調査などを通してチラシの配布や、相談時に個別で説明を行った。がんばる会については、雪の影響で 1 日、コロナウイルスの影響で 4 日間、介護予防教室については、雪で 2 日間、コロナウイルスで 2 日間事業を中止することがあった。

１．地域ケア会議実績

目　的　　保健・医療・福祉・行政関係者が集まり、中山町における要援護者の抱える問題解決に向けた情報交換等を行う場として月に一度開催する。

開催日　　毎月第1木曜日　13時30分～

開催場所　　なかやま幸梅園 会議室等

出席者　　保健・医療・福祉などの現場職員を中心に15名程度

医師・訪問看護師、歯科医師・歯科衛生士、保健センター職員・保健師、社協専門員・居宅介護支援事業所、各居宅サービス事業所、施設相談員、地域包括支援センター、在宅介護支援センター

実施回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別参加者数	14	16	13	15	16	11	13	14	15	15	14	14	156

２．　一般介護予防

目　的　　介護予防の基本的な知識を普及啓発するため、各種教室や相談などの実施、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。

内　容　　ウォーキング教室

対象者:　　65歳以上の高齢者及びその支援のための活動に関わる者

講　師:

令和4年度　転倒骨折予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	1		1				1	1	1		1	1	7
参加人数	7		8				7	7	8		6	8	51

令和3年度

実施回数			1	1			2	2	1				7
参加人数			6	6			13	11	4				40

令和4年度　認知症予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数				1			3						4

令和3年度

実施回数										1			1

３．家族介護教室事業実績

目　　的　：　高齢者を介護している家族及びボランティア等に対し、介護方法や介護予防及び介護者の健康作り等についての知識及び技術を習得させるための教室を開催することにより、高齢者を介護している家族等の身体的・精神的負担の軽減を図ると共に在宅福祉の向上及び介護予防に資することを目的とする。

協力機関　：　保健センター・社会福祉協議会　居宅介護支援事業所　介護保険対象事業所

開催場所　：　中山コミュニティセンター集会室等

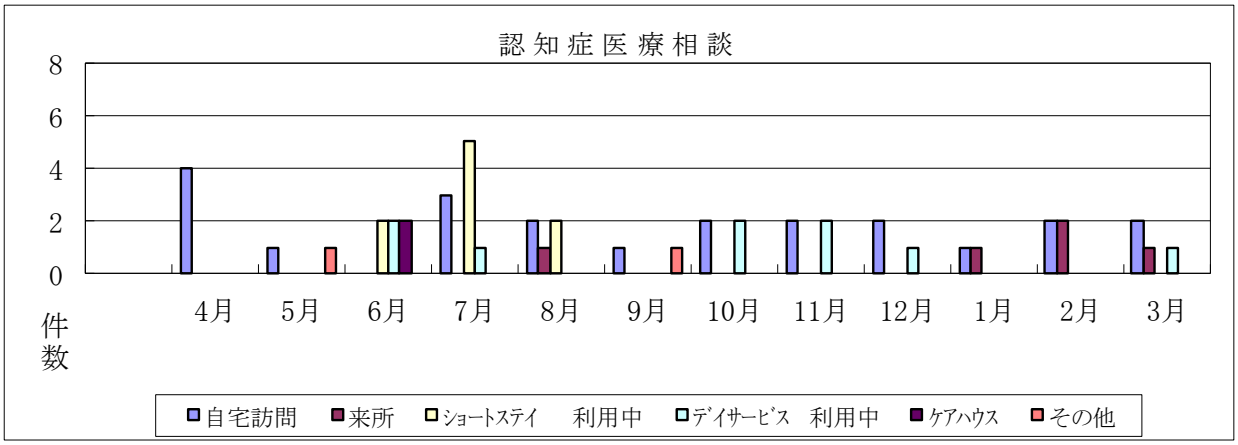
月	日	曜日	時間	場所	内容	講師	参加人数
4	19	火	10:00～12:00	中山コミュニティーセンター	お薬について	トマト薬局薬剤師	16
5	17	火	13:00～15:00	中山コミュニティーセンター	消費者トラブルについて	伊予市消費者相談窓口	16
6	24	金	13:00～15:00	中山コミュニティーセンター	認知症普及啓発セミナー参加と茶話会		22
7	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
8	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
9	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
10	新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画せず。						
11	新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画せず。						
12	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
1	新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画せず。						
2	新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画せず。						
3	新型コロナウイルス感染拡大防止のため計画せず。						

４．認知症相談

目　的:　　認知症高齢者を抱える家族に対し、愛大精神科専門医による総合相談の実施。

実施日:　　月2回程度

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅訪問	4	1		3	2	1	2	2	2	1	2	2	22
来所					1					1	2	1	5
ショートステイ利用中			2	5	2								9
ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ利用中			2	1			2	2	1			1	9
ケアハウス			2										2
その他		1				1							2
合計	4	2	6	9	5	2	4	4	3	2	4	4	49



５．高齢者配食サービス事業

目　的　　訪問による定期的な食事の提供に併せて、高齢者の安否確認を行うことで、当該高齢者等の社会的孤立感を解消し、及び自立支援を図る。

対象者　　①65歳の一人暮らしの者で、身体虚弱等のため調理し食事することが困難である。
②65歳以上の者のみで構成する世帯の世帯主又は世帯員で、当該世帯主又は世帯員のいずれも身体虚弱等のため、調理し食事することが困難である。
③その他の理由（上記に類する具体的な理由がある）

・延べ利用数　　209名

・延べ配食数　　3,288食

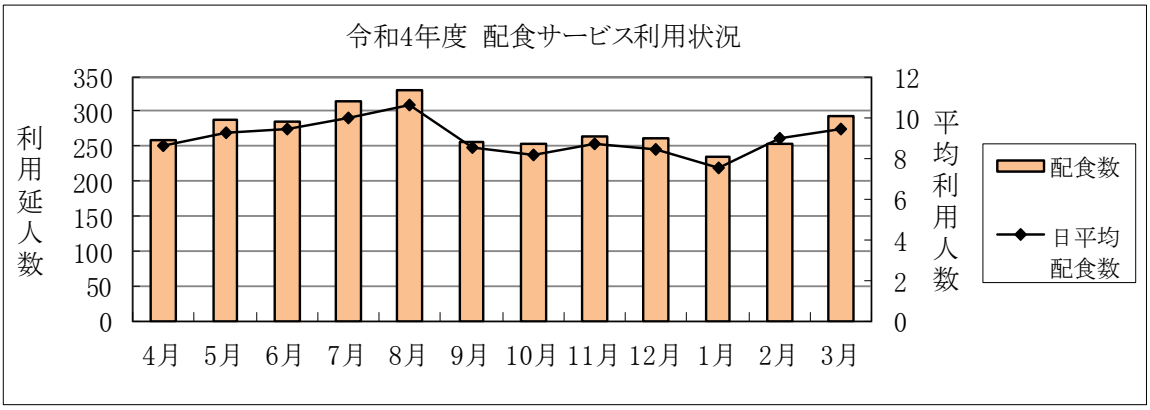
【月別利用人数及び配食数】

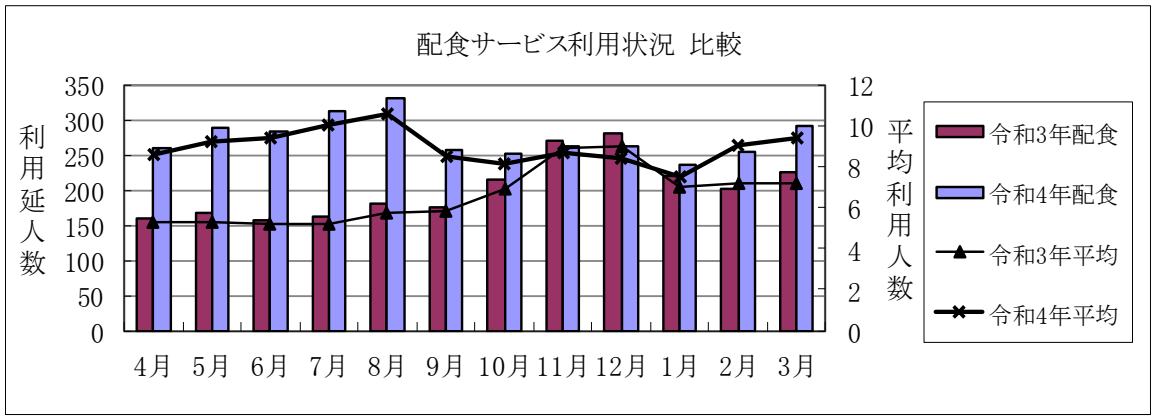
令和4年度

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食数	259	288	284	313	330	256	252	263	262	235	254	292	3,288
利用人数	16	17	18	20	18	18	18	18	16	15	17	18	209
日平均配食数	8.6	9.2	9.4	10	10.6	8.5	8.1	8.7	8.4	7.5	9	9.4	9

令和3年度

配食数	159	166	157	162	179	176	215	269	279	219	202	224	2,407
利用人数	13	12	12	11	13	14	16	18	19	15	17	15	175
日平均配食数	5.3	5.3	5.2	5.2	5.7	5.8	6.9	8.9	9	7	7.2	7.2	6.5





中山コミュニティセンター

６．自主事業「がんばる会」

目　的　家で閉じこもりがちな、概ね60歳以上の高齢者の心身のリフレッシュ、生きがい作り及び自立生活の支援や社会的交流を図ることで、要支援・要介護状態にならないように予防する。 認知症予防、介護予防を目的とした教室を行う。

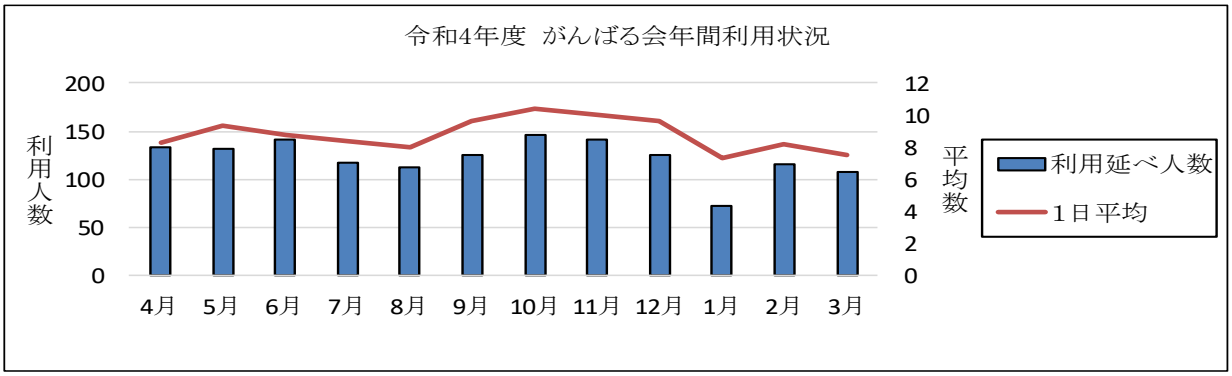
対象者　概ね60歳以上の高齢者

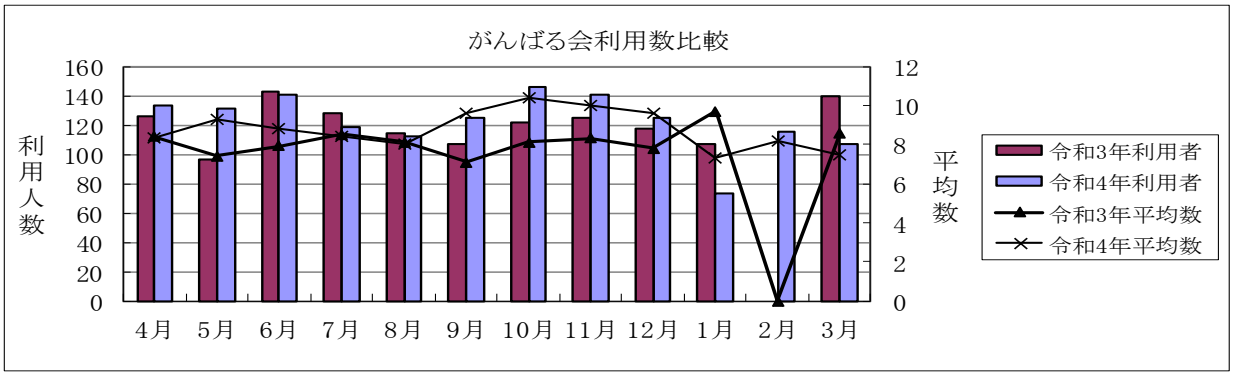
令和4年度

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	16	14	16	14	14	13	14	14	13	13	14	14	169
利用延べ人数	133	131	141	118	112	125	146	141	125	73	115	107	1,467
1日平均	8.3	9.3	8.8	8.4	8	9.6	10.4	10	9.6	7.3	8.2	7.5	8.6

令和3年度

開設日	15	13	18	15	14	15	15	15	15	11	0	16	162
利用延べ人数	126	96	143	128	114	107	122	125	117	107	0	139	1,324
1日平均	8.4	7.4	7.9	8.5	8.1	7.1	8.1	8.3	7.8	9.7	0	8.6	8.1





７．施設管理と介護予防活動

目　的　公の施設として地域住民のだれもが気軽に利用できるよう管理運営を行う。また、地域の介護予防の拠点として、教室・相談等を通し地域住民へ介護予防の基本的な知識を普及啓発をし、地域における自主的な介護予防活動を支援する。

令和4年度　中山コミュニティセンター　集会室

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	2	5	1	3	2	3	3	3	2	2	3	5	34
利用人数	22	34	5	14	8	23	112	15	19	10	13	81	356
利用料	3,170	5,140	950	2,690	1,740	5,080	4,020	2,050	2,690	1,900	2,690	7,300	39,420

主な利用団体と内容　　オカリナサークル（教室）　個人（ダンス練習）　中山梅寿会（教室）

令和3年度　中山コミュニティセンター　集会室

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数			3	3	1		4	3	2	2		1	12
利用人数			35	42	5		28	26	9	15		20	98
利用料			4,280	4,280	950		5,150	4,280	1,900	1,540		2,380	24,760

主な利用団体と内容　　オカリナサークル（教室）　個人（ダンス練習）　泉町広報員会（会議）

8. 地域包括ケア相談窓口設置事業

令和4年度

月別 相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	23	36	37	32	15	27	22	21	29	16	16	8	282
保健福祉 サービス				4	13	1					1		19
権利擁護													
虐待													
その他		5		3		8							16
合計	23	41	37	39	28	36	22	21	29	16	17	8	317

令和3年度

月別 相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	17	24	15	20	26	38	31	20	31	26	27	28	303
保健福祉 サービス	2	1	1	2			3		2	3			14
権利擁護													0
虐待													0
その他	5	3	2		1	1	7			2		4	25
合計	24	28	18	22	27	39	41	20	33	31	27	32	342

高齢者アセスメントシート作成件数

令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症	2	1	1	1	4	2	2	1	1	3	2	3	23
見守り	1	1	3	2				1			1		9
移動手段 の確保													
交流促進													
買物支援													
合計	3	2	4	3	4	2	2	2	1	3	3	3	32

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症		2	2	2	3	4	2	1		1	1		18
見守り	4	2	2	1	3	4	3	3	3	2		1	28
移動手段 の確保													
交流促進													
買物支援													0
合計	4	4	4	3	6	8	5	4	3	3	1	1	46

ケアハウス部門

【ケアハウス目標】ケアハウスでの自立生活支援強化

- ✧ ケアハウスでの自立生活が営めるよう、定期的に関係機関と連携を図り、自立支援に向けた体制作りに努める。必要に応じて各種福祉サービス等を導入し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援を行う。
- ✧ 適宜、入居者の状態及び状況を確認し、体調変化等の早期発見と対応を図る。

ケアハウス　なかやま幸梅園　**（定員：15 名）**

① 関係機関と連絡調整等を行い、入居待機者の確保に努める。また、入居待機者の状況について定期的に連絡を行うと共に、空室が生じた際には速やかに入居ができるよう対応する。
➡退去時には早期に関係機関と連携を図り、迅速な入居に繋げた。しかし、近年入退去の動きが頻回にあり、入居待機者が少ない現状となっている。

② 定期的に健康観察を行い、体調の安定に繋げると共に、服薬管理が必要な利用者については、適切に服薬できるよう支援を行う。
➡毎日の健康確認、定期的な体重、血圧等の確認を行い、異常時には早期に関係機関に繋げた。また、入居者の状態、状況に応じた服薬支援を提供することで、概ね服薬に繋げた。

③ コロナ禍においても、その人らしい生活の実現に向けて柔軟に対応し、ストレスの緩和、生きがいに繋がる支援を行う。
➡レクリエーションや園芸活動の充実を立案していたが、計画、実施方法等、検討が至らない点が見受けられ画一的な実施となってしまった。次年度は実施方法等、再検討を行い、更なる工夫を凝らす必要性がある。

④ 新型コロナウイルス感染状況等に配慮し、タブレット端末や、スマートフォン等の機器を活用した面会対応等を行う。
➡必要性に応じて、端末等の機器を活用した面会や動画、画像の提供を行うことで、家族からも喜び、感謝の声が聞かれた。

令和4年度　　ケアハウス　なかやま幸梅園

１．入居者状況（R5.3.31）

・定員　１５名　　《一人部屋　１３室　　二人部屋　１室》

・出身地状況　（単位：人）

出身地	男性	女性	合計
中山町	3	6	9
双海町	1	1	2
大洲市	1		1
合計	5	7	12

・年齢構成　（単位：人）

年齢層	男性	女性	合計
65歳～69歳	2		2
70歳～79歳	1	2	3
80歳～89歳	2	3	5
90歳～		2	2
合計	5	7	12

・平均年齢

全体	81.1歳
男性	76.4歳
女性	84.7歳

最高年齢 96歳　11ヶ月
最低年齢 66歳　5ヶ月

・在所期間状況　（単位：人）

期間	男性	女性	合計
１年未満	1	2	3
１年以上～２年未満		1	1
２年以上～３年未満	1	2	3
３年以上～４年未満	1		1
４年以上～５年未満			
５年以上～６年未満		1	1
６年以上～７年未満			
７年以上～８年未満	1	1	2
８年以上～９年未満			
９年以上～10年未満	1		1
合計	5	7	12

・月別入居率状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	合計
令和4年度	450	465	450	465	465	450	451	450	446	465	410	400	5,367
令和3年度	450	465	450	465	465	450	465	450	465	390	358	403	5,276
令和2年度	400	465	427	465	465	444	465	450	465	465	420	442	5,373
令和1年度	450	465	450	465	445	450	439	429	465	465	426	434	5,383

・入居者　　2 名　　年齢は入居時によるもの

性　別	年　齢	出　身　地	入居年月日
女　性	89 歳	伊予市中山町	令和4年10月22日
男　性	66 歳	伊予市中山町	令和4年12月28日

・退去者　　5 名　　年齢は退去時によるもの

性　別	年　齢	年　月　日	入居期間	理　　由
女　性	96 歳	令和4年10月7日	7年11ヶ月	他施設入居
男　性	92 歳	令和4年12月8日	10ヶ月	他施設入居
男　性	90 歳	令和5年2月18日	10ヶ月	入院の継続
女　性	89 歳	令和5年3月11日	3年8ヶ月	死去
女　性	99 歳	令和5年3月17日	8年2ヶ月	他施設入居

２．要介護度状況

令和5年3月31日

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	合計
令和4年度	3	3		5	1			12
令和3年度	2	2	3	3	3			13
令和2年度	2	3	3	5	1	1		15
令和1年度	2	2	1	7	2			14

３．在宅福祉サービス利用状況

訪問介護、リハビリは令和5年3月31日の利用者数
通所介護、短期入所は利用実績

利用種別	訪問介護	訪問リハビリ	通所介護	短期入所
令和4年度	9名		544日	87日
令和3年度	11名		652日	28日
令和2年度	13名		687日	5日
令和1年度	12名	1名	726日	89日

４．入退院状況

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	合計
令和4年度人数					1	2				1	3	1	8
入院日数					12	17				23	34	11	97日
令和3年度人数		1	1	1			1	1	1	1			7
入院日数		7	30	26			15	2	31	4			115日
令和2年度人数		1	1	2	2	1	1	1					9
入院日数		8	6	33	33	22	26	9					137日
令和1年度人数	1	1	1	1	1			2	1				8
入院日数	11	6	26	9	10			4	4				70日

・個人別入院状況　　年齢は入院時によるもの

性別	年齢	入院期間	入院日数	病名	入院先
男性	92	8月19日～9月9日	21日	誤嚥性肺炎疑い	愛媛生協病院
女性	96	9月20日～9月27日	8日	白血病疑い	愛媛生協病院
女性	97	1月9日～2月3日	26日	消化管出血	南松山病院
男性	90	2月6日～2月18日	13日	肺炎	松山市民病院
女性	89	2月10日～3月11日	30日	敗血症	松山赤十字病院

５．クラブ活動

曜日	クラブ活動名	ボランティア名	平均参加人数
日	ビデオ観賞	職員にて	13名
月	調　理	職員にて	11名
火	生け花	職員にて	8名
	レクリエーション	職員にて	11名
水	買い物	職員にて	8名
	手 芸		11名
木	ひまわりクラブ	職員にて	12名
金	健康チェック	職員にて	12名
土	喫　茶	職員にて	8名

６．年間行事及び交流会

月	行　事　名
4	お花見会
5	母の日会・運動会（事業所別）
6	防災訓練(風水害)・父の日会・焼肉パーティー
8	幸梅園夏祭り・防災訓練(火災)・合同慰霊祭
9	敬老会
10	餅つき・入居者健康診断
11	文化祭
12	防災訓練(地震、火災)・忘年会・クリスマス会・餅つき、しめ縄作り
1	新年会
3	お花見会

７．事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	12月15日	女性	転倒	2F廊下	バランスを崩して転倒	整形外科受診後、居室で様子観察

令和4年度事故発生状況　　ケアハウス なかやま幸梅園

発生内容／発生場所	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	1											1
居　室	有												
	無	1											1
食　堂	有												
	無										1		1
トイレ	有												
	無												
浴　室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有	1											1
	無								1				1
小　計	有	1											1
	無	2							1		1		4
合　計													5

（評価）

入居者の状態、状況に応じた事故防止策を講じることで事故の減少に繋がっているが、転倒事故が数回発生しているため入居者の状態や環境等、再確認する必要性がある。

ヒヤリハット件数：5件

８．苦情発生の状況

該当なし

障がい部門

【くりのみ目標】障害福祉サービスの充実

- ✧ 地域活動支援センターとして、基礎的事業と強化事業を通した社会参加の機会と居場所として機能を担う。また、交流会やバザーを通した住民との交流や事業の啓発、地域貢献をする。
- ✧ 一般相談、障害児相談支援、特定相談、地域移行、地域定着等の提供。ライフステージに合わせ、その人が希望する生活に近づくよう必要なサービスの提供や制度の利用支援を行う。
- ✧ 伊予市障がい者計画・伊予市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の推進に寄与する。

地域活動支援センター　くりのみ

① 75 歳になる登録者に対して、最終日まで転倒に気を付け元気で安心して利用できるように支援する。また、年間利用者が 2,200 人を切らないよう、定期的な利用継続に向け支援する。
➡今年度は、定期利用者の中で他事業所へ移行予定の対象者がいたため、年間利用者数が 2,200 人に届かない可能性があったが、対象者は他事業所への移行を希望せず、くりのみに在籍したこと等があり、年間 2,483 人と昨年度と利用者数が変わらなかった。

② 新規利用者２名を目標に関係機関等に相談する。
➡新規利用者について、計画相談対象者から１名 くりのみ利用登録する。他機関からの紹介で令和５年度から２名利用予定。

③ 他事業所を参考に新規作業を取り入れ作業内容の充実。強化事業に調理だけでなく、創作活動を取り入れる。
➡冬場限定であるが、新規作業を１つ取り入れた。強化事業の創作活動については、講師の確保ができず取り入れることができなかった。他の取り組みとして、他機関と Zoomを使った交流会に参加した。

（１）地域活動支援センターくりのみ　年間行事

令和4年度		行　事　内　容	参加人数	場　所
令和4年	4月　4日	おはぎ作り	11	地域活動支援センターくりのみ
	4月　9日	あゆみ会	家族6人	
	4月　12日	たけのこ調理	11	
	4月　20日	ボランティア清掃	10	
	5月　2日	牛丼・味噌汁作り	13	
	5月　7日	地域清掃	10	中山町内
	5月　14日	事業所内運動会	7	地域活動支援センターくりのみ
	6月　25日	職員送別会（うどん料理）	10	
	6月　27日	運動会の弁当作り・運動会	14	
	7月　16日	あゆみ会	家族2人	
	7月　25日	海鮮焼きそば	14	
	9月　9日	送別会	12	
	9月　26日	ピザトースト	13	
	10月　31日	キノコを使った料理	13	
	11月　28日	中華料理	13	
	12月　26日	グラタンを作ろう	14	
令和5年	1月　13日	マフィン作り	13	
	2月　3日	精神障害者地域交流事業（zoom）	12	
	2月　13日	たこ焼き作り	13	
	3月　31日	テイクアウトメニューを注文しよう	12	

（２）利用実績

令和4年度	利用実人員	利用延人員	開所日数	1日あたりの平均利用者数	令和3年	令和2年	令和1年
4月	16	190	20	9.5	10.7	9.9	9.2
5月	16	200	19	10.5	9.9	10.3	9.8
6月	15	239	22	10.9	9.5	9.9	9.1
7月	16	225	20	11.3	10.4	9.3	10.3
8月	14	162	16	10.1	10.0	9.0	9.9
9月	14	193	20	9.7	9.4	9.4	9.5
10月	15	213	20	10.7	9.2	9.4	10.3
11月	16	215	20	10.8	9.8	10.2	11.2
12月	16	208	20	10.4	10.3	10.7	11.2
1月	16	195	19	10.3	10.2	10.3	11.1
2月	15	202	19	10.6	10.7	10.1	11.1
3月	16	241	22	11.0	10.9	10.7	10.2
計	185	2,483	237	10.5	10.1	9.9	10.1

指定相談支援事業所　　くりのみ

① 令和３年度中の報酬改正内容を再度見直し、令和４年度から義務化される事業運営に取り組む。
➡令和 ４ 年度から義務化された虐待防止の取り組みについて、福祉サービス事業者を含めて、対象者と話をする機会があった。対象者も話し合いの内容について、前向きに考えてくれている。

② 障がい児、障がい者ともに福祉サービスに代わる資源を活用した支援を検討する。
➡児童については、ペアレントメンターの紹介を行った。大人については「あゆみ会」を通して、家族に対して「伊予市にあるグループホームの生活」を聞く機会を提供した。

（３）特定相談

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	3	4	7	3	3	6	8	6	5	2	2	2	51
継続相談	8	12	8	11	13	9	9	14	12	12	14	17	139

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	4	3	4	0	7	4	8	5	4	5	6	3	53
継続相談	10	11	12	8	12	10	8	11	6	9	13	12	122

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	5	4	2	0	1	4	8	6	5	9	6	3	53
継続相談	12	16	12	12	15	13	7	10	11	1	10	17	136

令和1年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	6	5	8	1	3	13	7	6	4	4	3	4	64
継続相談	7	3	5	9	9	3	6	7	10	11	11	10	91

（４）障害児相談

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	1	0	0	3	2	2	1	0	1	2	1	1	14
継続相談	0	0	2	0	0	1	1	1	4	3	1	1	14

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	5	1	0	3	2	1	2	0	0	2	0	0	16
継続相談	0	5	4	2	1	3	1	2	3	3	1	1	26

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	5
継続相談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	4

令和1年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	4	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	8
継続相談	1	5	4	7	0	2	0	0	0	1	0	2	22

（５）一般相談

1.相談支援を利用している障害者等の人数

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
R4	障害者	13	1	0	4	7	0	1	0	26
	障害児	0	0	0	0	0	1	0	0	1
R3	障害者	12	0	0	3	7	1	1	0	24
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R2	障害者	19	0	0	3	14	1	1	0	38
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	障害者	14	1	0	2	11	0	0	0	28
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2.支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
R4	40	0	4	25	3	0	41	35	148
R3	32	4	4	8	1	0	60	23	132
R2	42	9	13	78	19	10	112	20	303
R1	15	9	7	78	4	3	105	16	237

3.支援内容

	福祉サービス	障害理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係	家計・経済	生活技術	就労
R4	18	13	8	3	0	21	2	63	2
R3	56	12	4	4	1	15	0	34	4
R2	127	32	37	21	2	12	28	62	7
R1	5	11	35	15	0	1	23	141	8

	社会参加余暇	権利擁護	その他	計
R4	1	0	29	160
R3	1	0	18	149
R2	7	0	46	381
R1	0	3	9	297

調理部門

【厨房目標】喜びのある美味しい食事の提供と栄養ケアマネジメントの実施

- ✧ 行事食・イベント食を計画的に実施し充実を図る。
- ✧ 入居者１人１人の状態を把握し、課題を抽出し、改善に繋げる。また他職種と連携し、施設ケアプランに基づいた栄養ケアマネジメントの実践及び評価・判定を定期的に行う。

総合福祉施設　なかやま幸梅園　厨房

① 季節のものや行事食、地元で親しまれている食材を取り入れ、利用者個々に食べる喜びとQOL の維持向上につながるよう、食事内容の工夫を心掛ける。
➡「食べる喜び」を目標に旬の山菜寿司や筍飯や桜餅、いちご大福など、季節感を楽しめる地元の食材を使用した料理や、手作りおやつを提供した。また、行事、イベント食は、コロナ感染等の状況に配慮しつつ各事業所の担当者と相談しながら提供した。

② 厨房会を定期的に開催し、より良い食事の提供ができるように食事委員会と連携し、意見交換や食事に関わる連絡調整を行う。
➡厨房会については、未実施の月もあったが必要に応じて朝礼時や、休憩等の機会を捉えて協議、検討を行った。また、食事委員会と連携して意見交換や嗜好調査等の対応を行った。併せて栄養ケアマネジメントについては、多職種と連携しながら入居者個々の状態把握や課題の抽出等、適宜、加算対象のとなる計画作成及び評価等の体制確保に取り組んだ。

③ 自然災害時に備え、利用者・職員を含む非常食のメニューに沿った備蓄品を確保すると共に、消費期限をチェックし、在庫管理を行う。
➡非常食のメニューに沿った備蓄食品を確保すると共に、定期的に消費期限を確認しながら在庫管理を行った。備蓄のアルファー米は食感がパサ付くとの意見があった為、カレーライスや中華丼などのメニューに変更し提供した。

④ 大型調理機器等については、経年劣化も踏まえつつ、日常的なメンテナンスの実施と更新時期を見据えての準備を進める。
➡大型調理器については専門業者への依頼やスタッフによる日常的なメンテナンスを実施し、大きな故障やトラブル等は発生しなかった。

看護部門

【看護目標】健康観察と医療支援の充実

法人全体看護

① 入居者により良い医療支援が提供できるように、日常生活の中で健康観察を行い、日々の小さな変化を見落とさず早期に異常を発見する。異常時には、嘱託医に報告・相談し的確な判断のもと、早期治療が行えるように家族を含め支援を行う。
➡介護職と連携しながら早期発見及び、異常時には嘱託医に状態報告を行うと共に、指示を得ながら迅速に対応した。また、家族とも相談しながら希望に沿った支援を行った。

② ショートステイ・デイサービス等、利用者には、家族・担当介護支援専門員等と連携をとり、安心してサービス利用できるよう支援を行う。また、緊急時には家族、主治医と連携し、スムーズな対応が行えるように支援を行う。
➡担当ケアマネ及び関係事業所、医療機関等と連携し、事前の情報及び、状態を把握しながら利用者及び、その家族が安心してサービスを利用できるよう適切な対応に努めた。

③ 職員の健康管理、感染対策などの助言、アドバイスを行い健康で継続的に就業できる支援を行う。
➡職員健診は年に２回（４月・10 月）に実施し、結果等を踏まえて必要な場合は受診に繋げた。また、体調不良等の際は状態、状況に応じて個別の相談等にも対応した。

④ 感染症等に関する早期情報収集と共有、ならびに関係機関との連携をスムーズに行うことで利用者、職員等を支援する。
➡主治医と連携しながら新型コロナウイルスワクチン接種（年２回）及び、インフルエンザ予防接種（年１回）の実施対応を行った。また、各事業所や医療機関等と連携し情報共有に努めた。８月と 12 月～2 月にかけてはクラスターが発生したが各職員が主体的に徹底した蔓延防止に取り組んだ結果、重篤なケースに至らず収束した。

⑤ 服薬管理を徹底し、疾病の悪化予防及び医療面でのサポートなどを行う。
➡誤薬ゼロを目指して取り組んだが３件の誤薬事故が発生したことから、今後は主治医、家族、スタッフ間で連携しながら事故原因の十分な検証及び再発防止対策を徹底するよう改善に努める。

訪問介護部門

【訪問介護目標】スムーズな事業所移行と運営

- ✧ 他訪問介護事業所から新規開設の当事業所への移行に伴い、利用者・家族が今まで通り安心してサービスが利用できるように、介護保険法等関係法令に適切に対応する。
- ✧ 地域住民、関係機関へ新規事業開設の周知を図る。

指定訪問介護事業所　なかやま幸梅園

① 利用者数の目標　延べ 240 人/月　１日の平均利用者数８人
（稼働日：243 日）
➡利用者数　延べ 255.4 人/月　１日の平均利用者数 8.4 人

② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。
➡訪問時、支援内容に関わらず健康チェックと状態確認を行い、異変時はケアマネージャーや家族に相談した。利用者ごとの自立支援に沿った援助をすることで在宅生活継続に繋げた。

③ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。
➡施設内研修を毎月のヘルパー会で事業所内研修として実施、在宅介護研修センターの主催研修や伊予市社協中山事業所の研修（4 年度はコロナで中止）に参加しスキルアップに努めた。

令和4年度訪問介護実績

R4年度	要介護		要支援		介護+支援		
月	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数	1日平均
8月	15	168	11	69	26	237	7.6
9月	16	148	11	64	27	212	7.1
10月	18	152	11	68	29	220	7.1
11月	20	224	11	74	31	298	9.9
12月	18	218	12	69	30	287	9.3
1月	20	207	11	58	31	265	8.5
2月	18	208	11	52	29	260	9.3
3月	17	207	9	57	26	264	8.5
合計	142	1,532	87	511	229	2,043	
平均	17.8	191.5	10.9	63.9	28.6	255.4	8.4